

浅い眠り

作・長谷川公次郎

【登場人物】

久屋栄（ヒサヤサカエ）〔25〕…双子の妹

砂田大幸（スナダヒロユキ）〔38〕…元死刑囚

志賀（シガ）〔45〕…副村長

久屋瑞穂（ヒサヤミズホ）〔25〕…双子の姉

茶屋（チャヤ）〔32〕…副村長の愛人

伝馬（テンマ）〔35〕…記者

田中（タナカ）〔65〕…村長

地方の村落共同体。ここでは100人程度の人間が共同生活を営んでいる。その村の中心にある建物の書庫と呼ばれる場所。

9月23日(日)。15時。

上手には廊下に通じるドアが、奥には水場に通じるドアが付いている。そこに栄と志賀、茶屋が座って話をしている。

栄 個性を持って人は生きるべきみたいなものが当たり前になって。もちろんそういう人がいてもいいですしそうあるべき人もいるとは思いますが、そうじゃない人もいると思うんです。わたしなんかが特にそうで。突出した個性が無ければ生きていく価値が無いみたいな。でも突出したものが無いという個性もあるというか、まあ結局個性って言っちゃってますけど。そういう人のいる場所がどんな。それでこの村をひとつの生命体、みたいに例えている所に共感というか。ああ、あの雑誌のインタビュー。

茶屋
志賀 この村ではそれぞれに与えられた役割をこなしながら、ただ静かに日々を過ごしていく。わたしはこの共同体をひとつの生命体として捉えていますので、我々はそれを構成する細胞の集合体という位置付け。そこに特別なものは何もなくて、人としての機能だけがあればいい。

栄 そうそうそうそうです。

茶屋 村長のインタビュー内容ほとんど覚えてるよね。

志賀 まさにその通りで、個性の無い個性が生きていく場所が今どこにもなく。だから村長はこの村を作ったんです。突き詰めていけば地球だって人間だって原子の集合体なんですから。人間だけが特別じゃない。

栄 そうですよ。ここがわたしのいる生きていける場所かもしれないって。

茶屋 また村長の受け売り。まあここに移住希望の方は大体そんな感じですよ。

栄 そうですよ。まあでも村長、って呼ばれると困った顔されますけどねあの人。特別扱い苦手だから。

茶屋 かと行ってリーダーとか言うのと更に困った顔しますし。田中さんって呼ぶのもなんか違うってことで結局村長って呼ばれてますけど。

志賀 苗字がコンプレックスだったことがきっかけで、村長。

栄 よくある苗字ですもんね。

志賀 なんでこの村では我々はそんな感じですか。お互いに干渉も尊重もしません。

茶屋 あ。

志賀 ん？

栄 ん？

茶屋 ん？

茶屋 尊重。

志賀 あ。別に洒落じゃないです。

茶屋 今日の副村長抜群に面白いすね。

志賀 洒落じゃないですって。

茶屋 またまた。

志賀 違うって。上も下もないっていう。

茶屋 ああでも、アーミツシユ的なのと勘違いして来られる方もいるけど。それ違うから。

栄 アーミツシユ。

志賀 現代技術を拒否して生活をしている団体。昔ながらの。共通点はそれなりにありますけどね。外部との連絡は禁止ですので、携帯は入村時に破棄して貰います。インターネットもありませんから。知ってるとは思いますが。

茶屋 どっちかというとアナーキズムとかヒッピーに近いかも。

栄 ヒッピーですか。

志賀 それも少し違うような。

茶屋 ああでも代わりにルールは結構厳しくて。

志賀 そう。いくつか独自ルールがあつて。まず、他人の詮索はしない。

栄 詮索。

志賀 こう言っちゃなんですが、訳有りの方がここには結構来られます。こんな場所ですし。でも叩いて埃の出ない人なんかいませんから。だからお互い詮索しない。住民として機能していれば問題は。それが村長の方針。

茶屋 わたし別に隠すこと無いけどね。昔、春売ってたし。

志賀 こうやって自分からペラペラ喋るのも本当はよろしくない。

茶屋 悪い例として。

志賀 あと特に時間を守らない人とかは

ドアが開いて砂田が入ってくる。

首には包帯を巻いている。

砂田 ああ。居た。

特に悪びれる様子もない砂田。
呆気にとられる一同。

砂田 あれ。面接ってここですよね。

志賀 ああ砂田さん。

砂田 そうです。

志賀 ここまで歩いてきたんですか。よく来ましたね。

砂田 出迎えが来ないから。

志賀 行きましたよ。久屋さんいましたし、ねえ。

栄 はあ。というかバス乗ってましたよね。

砂田 ああいたね。

栄 バス停で待ち合わせだった筈だけど。あれからどこ行かれたんですか。

砂田 蝶々飛んでて。

栄 追っかけてったんですか。

茶屋 子供か。

砂田 少しくらい待とうよ。

志賀 待ちましたよ30分も。

茶屋 というか謝らないんですか。

砂田 入る時に頭下げたじゃないですか。

茶屋 それって、

砂田 ここ来るまで4時間歩いたんですけど。

茶屋 遅刻するからでしょ。

砂田 遅刻はしてない。

志賀 まあとにかく、施設の案内も終わりましたし、面接の途中からの参加になります
が。

砂田 そっちがそれでいいなら。

茶屋 なにそれ。

志賀 じゃあこちら。

砂田 どうも。